



11:12 それから、エフタはアモン人の王に使者たちを送って、言った。「あなたは私と、どうかかわりがあって、私のところに攻めて来て、この国と戦おうとするのか。」

11:13 すると、アモン人の王はエフタの使者たちに答えた。「イスラエルがエジプトから上って来たとき、アルノン川からヤボク川、それにヨルダン川に至るまでの私の国を取ったからだ。だから、今、これらの地を穏やかに返してくれ。」

11:14 そこで、エフタは再びアモン人の王に使者たちを送って、

11:15 彼に、エフタはこう言うと言わせた。

「イスラエルはモアブの地も、アモン人の地も取らなかつた。

11:16 イスラエルは、エジプトから上って来たとき、荒野を通して葦の海まで行き、そこからカデシュに来た。

11:17 そこで、イスラエルはエドムの王に使者たちを送って、言った。『どうぞ、あなたの国を通らせてください。』ところが、エドムの王は聞き入れなかつた。イスラエルはモアブの王にも使者たちを送ったが、彼も好まなかつた。それでイスラエルはカデシュにとどまつた。

11:18 それから、彼らは荒野を歩き、エドムの地とモアブの地を回って、モアブの地の東に来て、アルノン川の向こう側に宿営した。しかし、モアブの領土には入らなかつた。アルノンはモアブの領土だったから。

11:19 そこでイスラエルは、ヘシュボンの王で、エモリ人の王シホンに使者たちを送って、彼に言った。『どうぞ、あなたの国を通らせ

て、私の目的地に行かせてください。』

11:20 シホンはイスラエルを信用せず、その領土を通らせなかつたばかりか、シホンは民をみな集めてヤハツに陣を敷き、イスラエルと戦った。

11:21 しかし、イスラエルの神、主が、シホンとそのすべての民をイスラエルの手に渡されたので、イスラエルは彼らを打った。こうしてイスラエルはその地方に住んでいたエモリ人の全地を占領した。

11:22 こうして彼らは、アルノン川からヤボク川までと、荒野からヨルダン川までのエモリ人の全領土を占領した。

11:23 今、イスラエルの神、主は、ご自分の民イスラエルの前からエモリ人を追い払われた。それをあなたは占領しようとしている。

11:24 あなたは、あなたの神ケモシュがあなたに占領させようとする地を占領しないのか。私たちは、私たちの神、主が、私たちの前から追い払ってくださる土地をみな占領するのだ。

11:25 今、あなたはモアブの王ツィボルの子バラクよりもまさっているのか。バラクは、イスラエルと争ったことがあるのか。

11:26 イスラエルが、ヘシュボンとそれに属する村落、アロエルとそれに属する村落、アルノン川の川岸のすべての町々に、三百年間住んでいたのに、なぜあなたがたは、その期間中に、それを取り戻さなかつたのか。

11:27 私はあなたに罪を犯してはいないのに、あなたは私に戦いをいどんで、私に害を加えようとしている。審判者である主が、きょう、イスラエル人とアモン人との間を

さばいてくださるように。」

11:28 アモン人の王はエフタが彼に送ったことばを聞き入れなかつた。

モアブ人もアモン人もアブラハムのおいであるロトの末裔である、近くに住んでいました。どちらもイスラエルに対しては敵対的で、かつてイスラエルに対して自ら戦いをしかけ、負けてイスラエルがその結果領土を占領しました。(22)

クリスチャンが主のために生きているなら、主は勝利を与えてくださるのですから、あせって戦う必要はありません。まずはエフタのように平和のうちに解決することを求めましょう。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？

